

2024年における産業界の自主行動計画の 取組状況について

令和8年3月27日

経済産業省 産業保安・安全グループ
化学物質管理課 オゾン層保護等推進室

自主行動計画について

- 2005年の京都議定書目標達成計画（閣議決定）により始まった産業界の自主行動計画において、**代替フロン等4ガス（HFC、PFC、SF6、NF3）の排出抑制目標値と目標年の設定**を下記**14団体**に求めているところ。
- 各産業界では、自主行動計画に基づき、現場の実態等を踏まえた対策（排出抑制・現フロン類からの転換等）が継続的に実施されている。

<2024年の取組状況について>

- 2024年における**代替フロン等4ガス（HFC、PFC、SF6、NF3）の排出量**は、**3,067万t-CO2（2023年比5.0%減）**、うち**代替フロン（HFC）の排出量**は、**2,688万t-CO2（2023年比3.5%減）**となっている。代替フロン等4ガスについては4年連続の減少となっている。
- 今後も、**HFCの生産量は段階的に削減**されていくが、引き続き、産業界において製造工程の改善等の自主的取組を継続し、**ノンフロン・低GWPガス等への早期転換を推進**していく必要がある。

○自主行動計画策定団体（14団体）

1. 日本フルオロカーボン協会、2. （一社）日本化学工業協会、3. 日本ウレタン工業協会、4. （一社）日本エアゾール協会、5. 日本製薬団体連合会、6. 日本遊戯銃協同組合、7. （一社）日本冷凍空調工業会、8. （一社）日本冷凍空調設備工業連合会、9. （一社）日本自動販売システム機械工業会、10. （一社）日本自動車工業会、11. （一社）電子情報技術産業協会、12. （一社）日本電機工業会、13. 電気事業連合会、14. （一社）日本マグネシウム協会

自主行動計画の目標達成状況（1）

団体	取組	目標値（2025年） ※指定製品制度の目標年度等に合わせた場合は異なる年度で設定	実績値（2024年）	現時点での目標の達成状況
1.日本フッ素カーボン協会	HFCs製造の排出抑制対策	排出量削減目標 HFC-23（95年比） -92.5% その他HFC（95年比） -60%	HFC-23 -99.98% その他HFC -87%	達成
2.（一社）日本化学工業協会	PFCs、SF6、NF3製造の排出抑制対策	<2030年目標> PFCs排出原単位削減量（95年比） -90% SF6排出原単位削減量（95年比） -90% NF3排出原単位削減量（95年比） -85%	PFCs : -98% SF6 : -98% NF3 : -99%	達成
3.日本ウレタン工業協会	ウレタンフォーム製造の排出抑制対策	<2024年目標> 住宅用吹付け原液以外の硬質ポリウレタンフォームに用いるフロン発泡剤 HFC-245fa : 350 t以下 HFC-365mfc : 100 t以下	HFC-245fa : 137t HFC-365mfc : 43 t	達成
4.（一社）日本エアゾール協会	エアゾール及びダストブロー製造の排出抑制対策	生産時の当該ガスの漏えい率 3%前後	2.6%（95年比で48%削減）	達成
5.日本製薬団体連合会	MDI製造の排出抑制対策	排出量を110 t(79.6%削減)以下	85.08 t	達成
6.日本遊戯銃協同組合	遊戯銃使用時等の排出抑制対策	HFC-134a出荷数量 : 10 t以下	19.6 t	現時点では未達
7.（一社）日本冷凍空調工業会	業務用冷凍空調機器製造等の排出抑制対策	生産工場における冷媒漏えい量 削減率 : 51%以上	61%	達成
	家庭用エアコン製造等の排出抑制対策	生産工場における冷媒漏えい量 削減率 : 64%以上	95%	達成

自主行動計画の目標達成状況（2）

8. (一社) 日本冷凍空調設備工業連合会	業務用冷凍空調機器製造等の排出抑制対策	業務用冷凍空調機器使用時のフロン漏えい対策 フロン回収の促進 工事の品質の確保・技術の向上の推進 新冷媒（代替）使用対策の検討	各種取組を実施	取組継続中
9. (一社) 日本自動車販売システム機械工業会	業務用冷凍空調機器製造等の排出抑制対策	製造における冷媒充填時の漏洩総量（2012-2014年平均比） 4%以下 稼働台数のうち故障率 0.30%以下 故障機修理時における漏洩総量（2012-2014年平均比） 4%以下	製造時漏えい量 0.6% 故障率 0.30% 修理時漏えい量 0.6%	達成
10. (一社) 日本自動車工業会	カーエアコン製造等の排出抑制対策	<2023年目標> 出荷台数（乗用車）の年間加重平均GWP値 150以下	17	達成
11. (一社) 電子情報技術産業協会	電子部品等洗浄の排出抑制対策	【電子部品】1995年比（836.9千t-CO2） GWP換算総排出量65%以上削減	【電子部品】93.1千t-CO2 （89%削減）	達成
	半導体製造の排出抑制対策	PFC排出量:面積原単位を指標とし、 0.22 kg-CO2/cm2以下	0.123 kg-CO2/cm2	達成
12. (一社) 日本電機工業会	電気絶縁ガス使用機器製造等の排出抑制対策	ガス購入量に対する排出量割合 2005年目標値を維持・継続し3%以下	2%	達成
13. 電気事業連合会	電気絶縁ガス使用機器製造等の排出抑制対策	使用時排出量： 機器点検時の排出量割合を3%程度まで抑制 廃棄時排出量： 機器廃棄時の排出量割合を1%程度まで抑制	使用時排出量：1% 廃棄時排出量：1%	達成
14. (一社) 日本マグネシウム協会	マグネシウム鋳造時等の排出抑制対策	SF6排出量 6 t以下まで削減 SF6排出量2000年比削減率 85%以上	SF6排出量 6 t SF6排出量2000年比削減率 85.0%	達成

(参考) 代替フロン等4ガスの排出量の推移

ガス種別	2024年排出量 (百万t-CO2)	前年比	前年排出量 (百万t-CO2)
HFC	26.88	▲3.5%	27.86
PFC	2.43	▲18.6%	2.98
SF6	1.18	▲5.1%	1.25
NF3	0.18	▲12.8%	0.21
合計	30.67	▲5.0%	32.29

